

グローバルインパクト投資ファンド (気候変動)

運用報告書 (全体版)

第3期 (決算日 2024年11月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバルインパクト投資ファンド (気候変動)」は、2024年11月15日に第3期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
当ファンドにおける社会的インパクトの達成状況や対話・エンゲージメント活動等についてはインパクトレポート、また、社会的インパクト創出の観点を中心に主要な要素として選定した投資銘柄の組入比率はマンスリーレポートに記載しています。下記URLをご覧ください。
<https://www.resona-am.co.jp/fund/120027/mokuromi.html>
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2021年12月17日から無期限です。	
運用方針	日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長と社会的インパクトの創出を目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバルインパクト投資ファンド (気候変動)	・RMグローバルインパクト投資マザーファンド (気候変動) の受益証券
	RMグローバルインパクト投資マザーファンド (気候変動)	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	グローバルインパクト投資ファンド (気候変動)	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	RMグローバルインパクト投資マザーファンド (気候変動)	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

ホームページ: <https://www.resona-am.co.jp/>

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル: 0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時~午後5時)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	額			株組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		税金	騰落	騰落率			
(設定日)	円	円		%	%	%	百万円
2021年12月17日	10,000	—		—	—	—	501
1期(2022年11月15日)	9,164	0	△	8.4	95.5	3.0	459
2期(2023年11月15日)	8,150	0	△	11.1	93.4	3.0	545
3期(2024年11月15日)	9,785	0		20.1	91.0	2.7	1,028

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落	騰落率		
(期首)	円		%	%	%
2023年11月15日	8,150		—	93.4	3.0
11月末	7,994	△	1.9	90.7	2.8
12月末	8,551		4.9	90.6	2.7
2024年1月末	8,611		5.7	91.7	2.4
2月末	8,930		9.6	87.7	2.5
3月末	9,184		12.7	87.2	2.7
4月末	9,132		12.0	90.4	2.5
5月末	9,439		15.8	91.6	2.4
6月末	9,614		18.0	94.0	2.5
7月末	9,161		12.4	92.3	2.7
8月末	9,193		12.8	90.9	2.5
9月末	9,411		15.5	92.7	2.6
10月末	9,765		19.8	90.7	2.7
(期末)					
2024年11月15日	9,785		20.1	91.0	2.7

(注) 騰落率は期首比です。

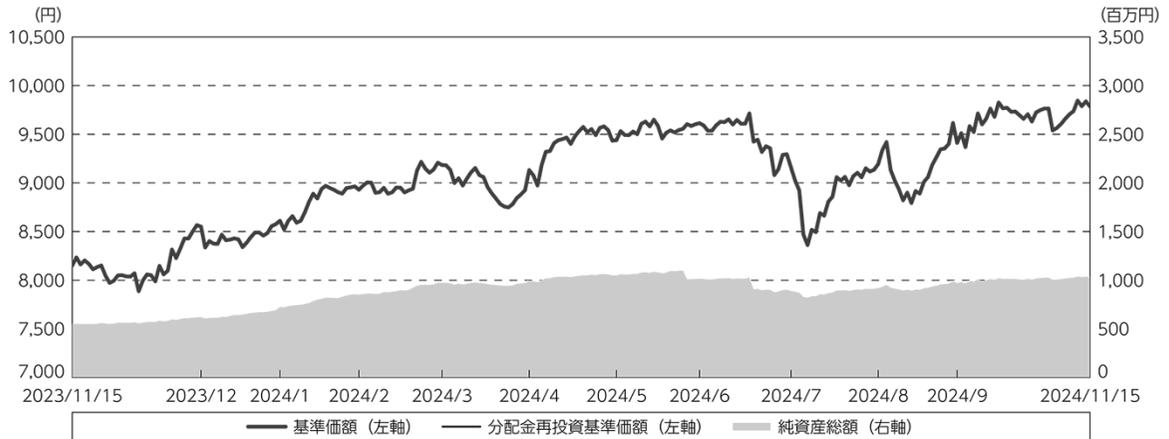
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2023年11月16日～2024年11月15日)

期中の基準価額等の推移



期首：8,150円

期末：9,785円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：20.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

各国での補助金政策の後退、インフレによる設備投資手控えなど外部環境の悪化が環境関連株の重しとなりましたが、米国景気の軟着陸への期待が高まったことからグローバル株式市場が上昇し、基準価額も上昇しました。

投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行(日本除く)による利上げ局面終了への期待感が下支えとなった一方、インフレ減速の鈍化を受け、早期利下げへの期待が後退すると、不安定な値動きとなる場面もみられました。期後半は、米欧地域が利下げ局面入りしたことで、グローバル株式市場は大きく上昇しました。期末にかけては、米国大統領選挙で保護主義的な政策を掲げたトランプ氏が当選したことで、関税引き上げ懸念などから欧州株の下落が目立ちました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、日米金利差の縮小を背景に円高となりましたが、日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したことなどから、円安が進行しました。その後は、日銀による追加利上げの決定や、米国の景気後退懸念に伴うFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測の強まりを背景に、円高米ドル安が急速に進行しました。期末にかけては、米国景気の底堅さや米国大統領選挙におけるトランプ氏の当選シナリオが意識されるなか、内外金利差の再拡大を受けて円安へ反転しました。

ユーロに対しては、日銀が追加利上げを実施したことなどから、円高ユーロ安が進行しました。期末にかけては、ECB（欧州中央銀行）が2会合連続で利下げを行ったことなどから、円安ユーロ高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

RMグローバルインパクト投資マザーファンド（気候変動）受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

RMグローバルインパクト投資マザーファンド（気候変動）

世界における社会的課題である気候変動の緩和、気候変動の影響への適応等にビジネスとして取り組み、持続的に企業価値を拡大させるとともに、課題解決に対する社会的インパクトを創出することが期待できる企業に厳選して投資を行いました。

当期においては、運用実績の改善ならびに安定化を目指して投資銘柄数の拡充、足元の業績やリスクを考慮した保有比率の柔軟な調整に取り組み、徐々にその成果が表れてきたと判断しています。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■GEベルノバ（米国）

総合エネルギー企業として、火力・風力発電向けの設備機器などを通じ世界の電力の約3分の1を供給しています。世界最高効率の風力発電設備の供給や、緊急時の安全性が高い次世代原子炉を北米で初めて受注するなど電力供給側の課題解決に向けたプロジェクトを着実に進めており、また、業界に先駆けて火力発電の「CO2排出ゼロ」目標を掲げ、水素100%使用の火力発電プラントの建設を開始しています。足元ではAI（人工知能）普及に伴いデータセンターの増設が相次ぎ、電力需要が高まったことから業績は好調に推移し、株価も上昇しました。

<マイナス要因>

■ユーグレナ（日本）

社名の由来であるユーグレナを活用し、食品や化粧品の販売、バイオ燃料の開発・製造を行っているバイオテクノロジー企業です。ユーグレナは幅広い用途が期待されていますが、当ファンドでは航空機向けを中心としたバイオ燃料による気候変動の緩和と、様々な栄養素を含む食品生産による食糧問題解決への貢献に期待しています。収益への寄与が期待されたマレーシアでの3社合併によるバイオ燃料商業プラントプロジェクトは、出資比率の低さや先行きの不透明感から足元の株価は軟調に推移していますが、長期でのポテンシャルに変化は無く、保有を継続しています。

■ ティッセンクルップ・ニューセラ（ドイツ）

水の電解により水素を製造する水電解槽のうち、アルカリ型電解槽を製造するプラントエンジニアリング企業です。50年以上にわたり食塩水の電解装置を手掛けてきた技術力をベースに手掛ける同社のアルカリ型水電解槽は、相対的にコストが安価で、大規模なプロジェクトにも対応が可能であることから、グリーン水素（再生可能エネルギーを活用し水から製造される水素）の普及において大きな役割が期待されています。低調な欧州景気やインフレによる設備投資の手控えを受けて、株価は足元軟調に推移していますが、長期的な成長への期待に変化は無く、継続保有としています。

当期末における、社会的インパクト創出の観点から主要な要素として選定した投資銘柄の純資産総額に占める組入比率は93.5%です。なお、保有全銘柄に占める当該投資銘柄の比率は100%です。

当ファンドにおける社会的インパクトの評価や当ファンドに関連した対話・エンゲージメント活動は、下記URLのインパクトレポートに詳細を記載しています。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120027/mokuromi.html>

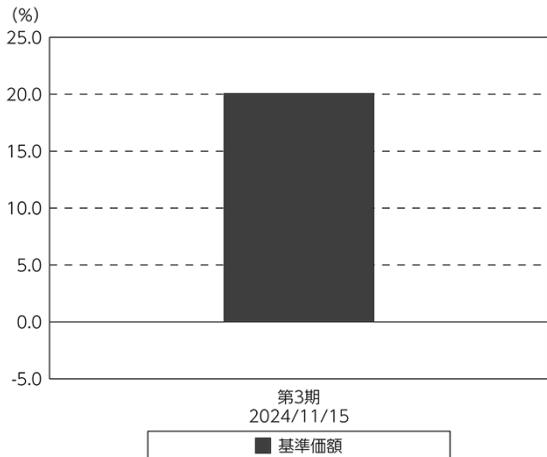
インパクトレポートでは、社会的インパクトの評価やその達成状況については、当ファンドの8つの重点ソリューション領域ごとに定量的・定性的に評価を行っています。また、対話・エンゲージメント活動については、実施件数および内容を記載するとともに、一部の投資先企業についてはその詳細もご紹介しています。

レポートの内容については投資先企業とも共有し、事業の更なる活性化と情報開示の高度化の促進に向けて活用しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

基準価額（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第3期
	2023年11月16日～ 2024年11月15日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	535

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMグローバルインパクト投資マザーファンド（気候変動）受益証券を高位に組み入れて運用を行う方針です。

RMグローバルインパクト投資マザーファンド（気候変動）

引き続き、世界における社会的課題である気候変動の緩和、気候変動の影響への適応などにビジネスとして取り組み、持続的に企業価値を拡大させるとともに、社会的インパクトを創出することが期待できる銘柄を厳選して投資を行います。

投資先企業への対話・エンゲージメントでは、関与する社会的課題に対する現状認識のすり合わせや、あるべき姿、長期目標の具体化について相互理解をさらに深めていくとともに、成果を生み出すための経営上の課題については業績への影響が顕在化する前の早い段階での把握に努め、問題解決に向けた取り組みを議論していきます。引き続き企業の社会的インパクトの定量化を株式評価に組み込み、その共有により企業の情報開示の充実を促すとともに、企業の戦略推進をサポートしていきます。

なお、次期においてもインパクトレポートを発行し、創出された社会的インパクトの評価や当ファンドに関連した対話・エンゲージメント活動について開示を行う予定です。また、投資先企業ともその内容を共有することで事業活動の一段の活性化、情報開示の高度化の促進に活用していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月16日～2024年11月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	150	1.650	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(73)	(0.809)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(73)	(0.809)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.113	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(10)	(0.111)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.002)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.026	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.026)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	12	0.129	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(11)	(0.122)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	174	1.918	
期中の平均基準価額は、9,082円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

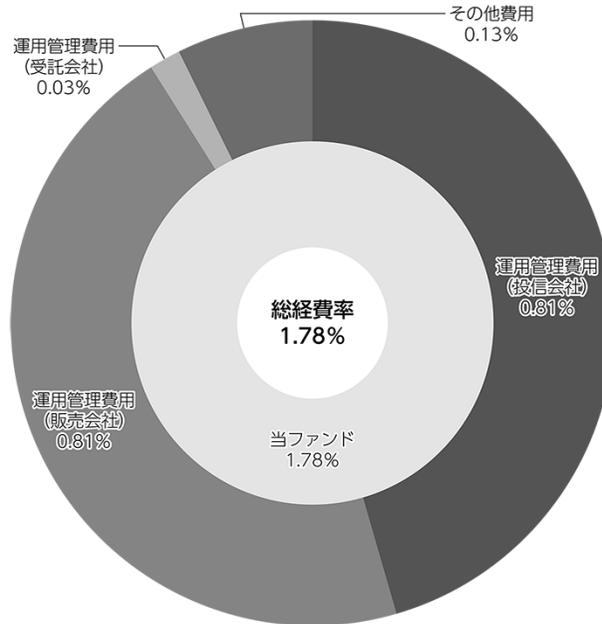
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年11月16日～2024年11月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
RMグローバルインパクト投資マザーファンド（気候変動）	千口 559,130	千円 515,833	千口 209,313	千円 207,015

○株式売買比率

(2023年11月16日～2024年11月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	RMグローバルインパクト投資マザーファンド（気候変動）	
(a) 期中の株式売買金額	970,871千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	802,001千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.21	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年11月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年11月16日～2024年11月15日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2024年11月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
RMグローバルインパクト投資マザーファンド（気候変動）	650,529	1,000,346	1,029,956

○投資信託財産の構成

(2024年11月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
RMグローバルインパクト投資マザーファンド（気候変動）	千円 1,029,956	% 99.0
コール・ローン等、その他	10,362	1.0
投資信託財産総額	1,040,318	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) RMグローバルインパクト投資マザーファンド（気候変動）において、当期末における外貨建純資産（897,639千円）の投資信託財産総額（1,031,850千円）に対する比率は87.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=156.84円、1ユーロ=165.12円、1英ポンド=198.61円、1スウェーデンクローナ=14.27円、1ノルウェークローネ=14.08円、1デンマーククローネ=22.13円、1香港ドル=20.15円。

○特定資産の価格等の調査

(2023年11月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年11月15日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,040,318,140
コール・ローン等	10,361,608
RMグローバルインパクト投資マザーファンド（気候変動）（評価額）	1,029,956,501
未収利息	31
(B) 負債	11,348,111
未払解約金	3,194,856
未払信託報酬	8,120,331
その他未払費用	32,924
(C) 純資産総額（A－B）	1,028,970,029
元本	1,051,543,292
次期繰越損益金	△ 22,573,263
(D) 受益権総口数	1,051,543,292口
1万口当たり基準価額（C／D）	9,785円

(注) 当ファンドの期首元本額は669,829,918円、期中追加設定元本額は649,962,978円、期中一部解約元本額は268,249,604円です。

(注) 当期末の1口当たり純資産額は0.9785円です。

(注) 2024年11月15日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は22,573,263円です。

○損益の状況（2023年11月16日～2024年11月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,529
受取利息	2,447
支払利息	△ 918
(B) 有価証券売買損益	145,458,472
売買益	174,589,085
売買損	△ 29,130,613
(C) 信託報酬等	△ 14,533,282
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	130,926,719
(E) 前期繰越損益金	△ 75,182,080
(F) 追加信託差損益金	△ 78,317,902
（配当等相当額）	（ 205,599）
（売買損益相当額）	（△ 78,523,501）
(G) 計（D＋E＋F）	△ 22,573,263
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金（G＋H）	△ 22,573,263
追加信託差損益金	△ 78,317,902
（配当等相当額）	（ 608,387）
（売買損益相当額）	（△ 78,926,289）
分配準備積立金	55,744,639

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（8,345,565円）、費用控除後の有価証券等損益額（47,399,074円）、および信託約款に規定する収益調整金（608,387円）より分配対象収益は56,353,026円（1万口当たり535円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

- ・「受益権の申込単位および価額」、「信託契約の一部解約」の各条文について、指定販売会社における投資者からの申込形態を考慮して誤解を招くことのない文言とするため、約款に所要の変更を行いました。（2024年11月17日）

RMグローバルインパクト投資マザーファンド（気候変動）

運用報告書

第3期（決算日 2024年11月15日）
（2023年11月16日～2024年11月15日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2021年12月17日から無期限です。
運用方針	<p>①主として、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録（上場予定、店頭登録予定を含みます。）されている株式*¹に投資し、信託財産の中長期的な成長と社会的インパクトの創出を目指して運用を行います。なお、不動産投資信託証券*²に投資する場合があります。</p> <p>* 1 DR（預託証券）または株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。</p> <p>* 2 一般社団法人投資信託協会規則に規定する不動産投資信託証券をいいます。</p> <p>②世界における社会的課題である気候変動の緩和、気候変動の影響への適応等にビジネスとして取り組み、持続的に企業価値を拡大させるとともに、社会的インパクトを創出することが期待できる銘柄を厳選して投資を行います。</p> <p>③投資先企業等に対しては、企業価値の拡大と社会的インパクトの創出の促進を目指し、継続的にエンゲージメントに努めるとともに、社会的インパクトの創出状況について定量的・定性的に評価を行います。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>
主要投資対象	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント 株式会社

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		騰	落			
(設定日)	円		%	%	%	百万円
2021年12月17日	10,000		—	—	—	500
1期(2022年11月15日)	9,304		△ 7.0	95.6	3.0	458
2期(2023年11月15日)	8,408		△ 9.6	93.3	3.0	546
3期(2024年11月15日)	10,296		22.5	90.9	2.6	1,029

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	投資信託証券組入比率
		騰	落		
(期首)	円		%	%	%
2023年11月15日	8,408		—	93.3	3.0
11月末	8,252		△ 1.9	90.8	2.9
12月末	8,840		5.1	90.7	2.7
2024年1月末	8,916		6.0	91.9	2.4
2月末	9,259		10.1	87.8	2.5
3月末	9,536		13.4	87.3	2.7
4月末	9,497		13.0	90.5	2.5
5月末	9,830		16.9	91.7	2.4
6月末	10,021		19.2	94.1	2.5
7月末	9,589		14.0	92.4	2.7
8月末	9,634		14.6	91.0	2.5
9月末	9,880		17.5	92.7	2.6
10月末	10,267		22.1	90.8	2.7
(期末)					
2024年11月15日	10,296		22.5	90.9	2.6

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年11月16日～2024年11月15日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の変動要因

各国での補助金政策の後退、インフレによる設備投資手控えなど外部環境の悪化が環境関連株の重しとなりましたが、米国景気の軟着陸への期待が高まったことからグローバル株式市場が上昇し、基準価額も上昇しました。



投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行（日本除く）による利上げ局面終了への期待感が下支えとなった一方、インフレ減速の鈍化を受け、早期利下げへの期待が後退すると、不安定な値動きとなる場面もみられました。期後半は、米欧地域が利下げ局面入りしたことで、グローバル株式市場は大きく上昇しました。期末にかけては、米国大統領選挙で保護主義的な政策を掲げたトランプ氏が当選したことで、関税引き上げ懸念などから欧州株の下落が目立ちました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、日米金利差の縮小を背景に円高となりましたが、日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したことなどから、円安が進行しました。その後は、日銀による追加利上げの決定や、米国の景気後退懸念に伴うFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測の強まりを背景に、円高米ドル安が急速に進行しました。期末にかけては、米国景気の底堅さや米国大統領選挙におけるトランプ氏の当選シナリオが意識されるなか、内外金利差の再拡大を受けて円安へ反転しました。

ユーロに対しては、日銀が追加利上げを実施したことなどから、円高ユーロ安が進行しました。期末にかけては、ECB（欧州中央銀行）が2会合連続で利下げを行ったことなどから、円安ユーロ高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

世界における社会的課題である気候変動の緩和、気候変動の影響への適応等にビジネスとして取り組み、持続的に企業価値を拡大させるとともに、課題解決に対する社会的インパクトを創出することが期待できる企業に厳選して投資を行いました。

当期においては、運用実績の改善ならびに安定化を目指して投資銘柄数の拡充、足元の業績やリスクを考慮した保有比率の柔軟な調整に取り組み、徐々にその成果が表れてきたと判断しています。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■GEベルノバ（米国）

総合エネルギー企業として、火力・風力発電向けの設備機器などを通じ世界の電力の約3分の1を供給しています。世界最高効率の風力発電設備の供給や、緊急時の安全性が高い次世代原子炉を北米で初めて受注するなど電力供給側の課題解決に向けたプロジェクトを着実に進めており、また、業界に先駆けて火力発電の「CO2排出ゼロ」目標を掲げ、水素100%使用の火力発電プラントの建設を開始しています。足元ではAI（人工知能）普及に伴いデータセンターの増設が相次ぎ、電力需要が高まったことから業績は好調に推移し、株価も上昇しました。

<マイナス要因>

■ユーグレナ（日本）

社名の由来であるユーグレナを活用し、食品や化粧品の販売、バイオ燃料の開発・製造を行っているバイオテクノロジー企業です。ユーグレナは幅広い用途が期待されていますが、当ファンドでは航空機向けを中心としたバイオ燃料による気候変動の緩和と、様々な栄養素を含む食品生産による食糧問題解決への貢献に期待しています。収益への寄与が期待されたマレーシアでの3社合併によるバイオ燃料商業プラントプロジェクトは、出資比率の低さや先行きの不透明感から足元の株価は軟調に推移していますが、長期でのポテンシャルに変化は無く、保有を継続しています。

■ティッセンクルップ・ニューセラ（ドイツ）

水の電解により水素を製造する水電解槽のうち、アルカリ型電解槽を製造するプラントエンジニアリング企業です。50年以上にわたり食塩水の電解装置を手掛けてきた技術力をベースに手掛ける同社のアルカリ型水電解槽は、相対的にコストが安価で、大規模なプロジェクトにも対応が可能であることから、グリーン水素（再生可能エネルギーを活用し水から製造される水素）の普及において大きな役割が期待されています。低調な欧州景気やインフレによる設備投資の手控えを受けて、株価は足元軟調に推移していますが、長期的な成長への期待に変化は無く、継続保有としています。

当期末における、社会的インパクト創出の観点から主要な要素として選定した投資銘柄の純資産総額に占める組入比率は93.5%です。なお、保有全銘柄に占める当該投資銘柄の比率は100%です。

当ファンドにおける社会的インパクトの評価や当ファンドに関連した対話・エンゲージメント活動は、下記URLのインパクトレポートに詳細を記載しています。

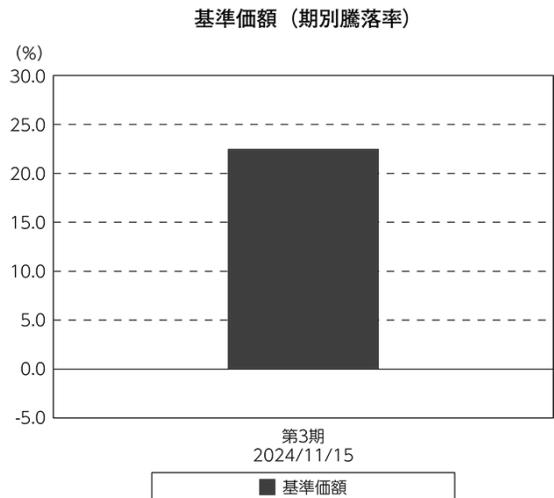
<https://www.resona-am.co.jp/fund/120027/mokuromi.html>

インパクトレポートでは、社会的インパクトの評価やその達成状況については、当ファンドの8つの重点ソリューション領域ごとに定量的・定性的に評価を行っています。また、対話・エンゲージメント活動については、実施件数および内容を記載するとともに、一部の投資先企業についてはその詳細もご紹介しています。

レポートの内容については投資先企業とも共有し、事業の更なる活性化と情報開示の高度化の促進に向けて活用しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



○今後の運用方針

引き続き、世界における社会的課題である気候変動の緩和、気候変動の影響への適応などにビジネスとして取り組み、持続的に企業価値を拡大させるとともに、社会的インパクトを創出することが期待できる銘柄を厳選して投資を行います。

投資先企業への対話・エンゲージメントでは、関与する社会的課題に対する現状認識のすり合わせや、あるべき姿、長期目標の具体化について相互理解をさらに深めていくとともに、成果を生み出すための経営上の課題については業績への影響が顕在化する前の早い段階での把握に努め、問題解決に向けた取り組みを議論していきます。引き続き企業の社会的インパクトの定量化を株式評価に組み込み、その共有により企業の情報開示の充実を促すとともに、企業の戦略推進をサポートしていきます。

なお、次期においてもインパクトレポートを発行し、創出された社会的インパクトの評価や当ファンドに関連した対話・エンゲージメント活動について開示を行う予定です。また、投資先企業ともその内容を共有することで事業活動の一段の活性化、情報開示の高度化の促進に活用していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月16日～2024年11月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 11 (10) (0)	% 0.113 (0.111) (0.002)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.026 (0.026) (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	12 (12) (0)	0.123 (0.122) (0.001)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	25	0.262	
期中の平均基準価額は、9,460円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年11月16日～2024年11月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 85	千円 87,329	千株 59	千円 60,493
	アメリカ	百株 463 (68)	千米ドル 2,155 (44)	百株 462 (-)	千米ドル 1,154 (44)
外	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	118	637	97	181
	フランス	87	296	10	38
	スペイン	120	157	-	-
	ルクセンブルク	10	32	37	128
国	イギリス	367	千英ポンド 44	226	千英ポンド 44
	スウェーデン	40	千スウェーデンクローナ 316	200	千スウェーデンクローナ 1,329
	ノルウェー	50	千ノルウェークローネ 108	687	千ノルウェークローネ 1,178
	デンマーク	5	千デンマーククローネ 224	11	千デンマーククローネ 447
	香港	110	千香港ドル 83	170	千香港ドル 132

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	WEYERHAEUSER CO	2,772	91	524	15

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○株式売買比率

(2023年11月16日～2024年11月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	970,871千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	802,001千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.21

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2023年11月16日～2024年11月15日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年11月15日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)			
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
食料品 (3.8%)				
ユーグレナ	34.5	7.8	3,361	
機械 (20.1%)				
技研製作所	7.8	10.5	17,976	
電気機器 (3.3%)				
QDレーザ	3.6	8.8	2,939	
情報・通信業 (35.7%)				
メルカリ	4.9	15.6	30,030	
QPS研究所	—	1.3	1,956	
サービス業 (37.1%)				
アストロスケールホールディングス	—	32.8	33,226	
合 計	株 数 ・ 金 額	50	76	89,489
	銘 柄 数 < 比 率 >	4	6	< 8.7% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
CLOUDFLARE INC - CLASS A	—	24	220	34,603	ソフトウェア・サービス	
DARLING INGREDIENTS INC	43	52	217	34,115	食品・飲料・タバコ	
EASTMAN CHEMICAL CO	15	18	183	28,758	素材	
ECOLAB INC	12	12	306	48,000	素材	
GE VERNOVA INC	—	6	201	31,653	資本財	
GE AEROSPACE	17	—	—	—	資本財	
GINKGO BIOWORKS HOLDINGS INC	90	—	—	—	素材	
LI-CYCLE HOLDINGS CORP	23	—	—	—	商業・専門サービス	
MSCI INC	4	5	359	56,374	金融サービス	
BALL CORP	39	43	271	42,589	素材	
STEM INC	9	—	—	—	資本財	
XYLEM INC	19	22	276	43,322	資本財	
ON HOLDING AG-CLASS A	—	56	303	47,543	耐久消費財・アパレル	
ALARM.COM HOLDINGS INC	—	36	220	34,505	ソフトウェア・サービス	
ANSYS INC	7	7	270	42,482	ソフトウェア・サービス	
ENPHASE ENERGY INC	8	0.03	0.19	29	半導体・半導体製造装置	
AUTODESK INC	9	11	342	53,674	ソフトウェア・サービス	
ORIGIN MATERIALS INC	248	230	28	4,527	素材	
TETRA TECH INC	—	75	307	48,213	商業・専門サービス	
VERISK ANALYTICS INC	—	12	345	54,255	商業・専門サービス	
小 計	株 数 銘柄 数 < 比 率 >	547 14	616 16	3,855 —	604,650 <58.7%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
HANNOVER RUECK SE	—	11	288	47,692	保険	
INFINEON TECHNOLOGIES AG	—	85	263	43,428	半導体・半導体製造装置	
THYSSENKRUPP NUCERA AG & CO	99	22	19	3,154	資本財	
小 計	株 数 銘柄 数 < 比 率 >	99 1	119 3	570 —	94,275 <9.2%>	
(ユーロ…フランス)						
MICHELIN(CGDE)	—	76	238	39,322	自動車・自動車部品	
小 計	株 数 銘柄 数 < 比 率 >	— —	76 1	238 —	39,322 <3.8%>	
(ユーロ…スペイン)						
IBERDROLA SA	—	120	160	26,491	公益事業	
小 計	株 数 銘柄 数 < 比 率 >	— —	120 1	160 —	26,491 <2.6%>	
(ユーロ…ルクセンブルク)						
BEPESA SA	34	7	15	2,509	商業・専門サービス	
小 計	株 数 銘柄 数 < 比 率 >	34 1	7 1	15 —	2,509 <0.2%>	
ユ ー ロ 計	株 数 銘柄 数 < 比 率 >	133 2	323 6	984 —	162,599 <15.8%>	
(イギリス)			千英ポンド			
GENUS PLC	71	64	116	23,226	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ITM POWER PLC	152	300	10	2,101	資本財	
小 計	株 数 銘柄 数 < 比 率 >	224 2	365 2	127 —	25,328 <2.5%>	

銘柄	株数	当期		業種等
		株数	評価額	
(スウェーデン) SSAB AB-A SHARES	百株 212	百株 53	千スウェーデンクローナ 275	千円 3,928 素材
小計	株数・金額 212	株数・金額 53	外貨建金額 275	邦貨換算金額 3,928
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 1		<0.4%>
(ノルウェー) DESERT CONTROL AS ZAPTEC ASA AGILYX ASA	31 497 149	— 40 0.3	千ノルウェークローネ — 35 1	— 501 14 素材 資本財 商業・専門サービス
小計	株数・金額 677	株数・金額 40	36	515
	銘柄数<比率> 3	銘柄数<比率> 2		<0.1%>
(デンマーク) NOVONESTIS (NOVOZYMES) B	46	41	千デンマーククローネ 1,682	37,225 素材
小計	株数・金額 46	株数・金額 41	1,682	37,225
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 1		<3.6%>
(香港) XINYI GLASS HOLDINGS LTD	790	730	千香港ドル 610	12,297 資本財
小計	株数・金額 790	株数・金額 730	610	12,297
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 1		<1.2%>
合計	株数・金額 2,632	株数・金額 2,171	—	846,544
	銘柄数<比率> 24	銘柄数<比率> 29		<82.2%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国投資信託証券

銘柄	口数	当期		比率
		口数	評価額	
(アメリカ) WEYERHAEUSER CO	口 3,389	口 5,637	千米ドル 173	千円 27,283 %
合計	口数・金額 3,389	口数・金額 5,637	173	27,283
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 1		<2.6%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2024年11月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	936,034	90.7
投資証券	27,283	2.6
コール・ローン等、その他	68,533	6.7
投資信託財産総額	1,031,850	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（897,639千円）の投資信託財産総額（1,031,850千円）に対する比率は87.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=156.84円、1ユーロ=165.12円、1英ポンド=198.61円、1スウェーデンクローナ=14.27円、1ノルウェークローネ=14.08円、1デンマーククローネ=22.13円、1香港ドル=20.15円。

○特定資産の価格等の調査

(2023年11月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年11月15日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	1,031,850,635	
コール・ローン等	68,021,205	
株式(評価額)	936,034,743	
投資証券(評価額)	27,283,544	
未収配当金	511,009	
未収利息	134	
(B) 負債	1,925,465	
未払金	1,925,465	
(C) 純資産総額(A-B)	1,029,925,170	
元本	1,000,346,252	
次期繰越損益金	29,578,918	
(D) 受益権総口数	1,000,346,252口	
1万円当たり基準価額(C/D)	10,296円	

(注) 当ファンドの期首元本額は650,529,706円、期中追加設定元本額は559,130,189円、期中一部解約元本額は209,313,643円です。

(注) 2024年11月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。
・グローバルインパクト投資ファンド（気候変動）1,000,346,252円

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.0296円です。

○損益の状況（2023年11月16日～2024年11月15日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	9,330,889	
受取配当金	9,193,969	
受取利息	153,955	
その他収益金	314	
支払利息	△ 17,349	
(B) 有価証券売買損益	165,874,684	
売買益	233,336,991	
売買損	△ 67,462,307	
(C) 保管費用等	△ 1,073,369	
(D) 当期損益金(A+B+C)	174,132,204	
(E) 前期繰越損益金	△103,554,740	
(F) 追加信託差損益金	△ 43,297,189	
(G) 解約差損益金	2,298,643	
(H) 計(D+E+F+G)	29,578,918	
次期繰越損益金(H)	29,578,918	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。